

教師の協働性に関する一考察

西本 江莉加 (生涯スポーツ学科 学校スポーツコース)
指導教員 中藪 伸二

キーワード：教師，自殺，協働性

1. 緒言

近年精神疾患により休職する教員は年々増加しており，また新採1年後退職状況において，病気による依願退職は，100人前後にも上るとされている．教師としての仕事の責任の重さや業務の多忙さも原因の一つではあるが，その根底には学校でのチームワークに欠けた職場環境，人間関係があると考えられる．こうした現状を打開するために，本研究では，教諭の自殺に関する事例に着目し，分析を行い，学校現場の実態や，原因を理解することによって，円滑な人間関係やチームワークの必要性を明らかにしていく．その上で，このような悲劇を食い止めるきっかけにしたい．

2. 研究方法

見出しキーワードに「教諭自殺」を含む，朝日新聞記事（1993 - 2013）を年表にまとめ，分類を行った．またその中から教師の多忙と，教諭自殺に関する，いくつかの事例に着目し，それに関する著書及び論文から教師の協働性に関わる内容について，より深く検討した．

3. 結果と考察

朝日新聞記事（1993 - 2013）見出しキーワードに「教諭自殺」を含む記事を年表【資料①教諭自殺事例24ケース】にまとめると，原因として公務による過重労働，管理職によるパワーハラスメント，教諭同士の支援不足が主な原因になっている．

そこで，いくつかの教諭自殺事例と新任教員の記録から久富善之氏が分析し共通するポイントをまとめたものを参考に，独自に図式化を試みた．事態が進行し，自殺にまで陥るケースと事態を乗り越えるケースを比較したところ，2つのケースを分けるポイントは，第3段階にあると考えられる．問題発生時の適切な対処や管理体制が，2つ

のケースの違いであった．また，第5段階に陥るケースとの分離ポイントに，教師たちの仲間関係を持てたことにある．第5段階まで陥らなかったケースでは，学校外の研究会やサークルへの積極的な参加が見られた．

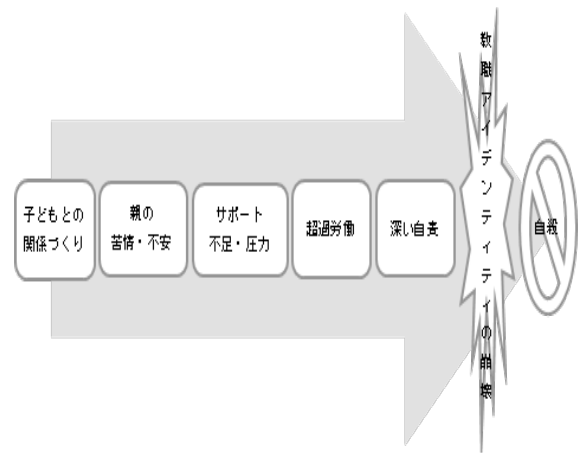


図1 教諭自殺の発生段階

4. まとめ

教師の休職者数や精神疾患数の増加原因には，教師としての理想や責任がストレスを引き起こし，労働形態等も心身に重い負荷を与えている．その中で最も深刻な問題は，チームワークに欠けた職場環境，人間関係である．学校という組織の中で，チームワークや人間関係が心にゆとりを与え，一番に児童，生徒のことを考え，向き合える形こそが理想である．

引用・参考文献

朝日新聞（1993-2013）

久富義之（2010）新採教師たちの「困難」から「希望」への途を求めて．クレスコ．10（12）：12-16．

久富義之，佐藤博（2010）新採教師はなぜ追い詰められたのか．株式会社高文研．